

平成25年第4回市議会定会における主な課題対応

総務部 企画課

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
[一般質問 桜井議員] 専修大学北海道短期大学の跡利用について、市は、施設の継続活用に関する要望書を提出しておりますが、<u>学校法人専修大学との交渉状況</u>について伺う。	現在、校地等の利活用を含む短期大学の廃止業務全般の検討を行うため、新たに「専修大学北海道短期大学廃止業務プロジェクト」を設置したところであり、第1回会議を本年11月27日に開催し、市からの要望書も含め、検討を行っていると同っている。このため、<u>大学との協議の場を早急に設けていただくよう、再度申し入れを行い、短大施設の継続活用に関して要請を行ってまいりたいと考えている。</u>	12月2日、協議の場について早期開催するよう口頭で北海道事務所(短大)に申し入れた。 H26年1月9日湯浅専務が新年の挨拶のため来庁。
<u>旧美唄工業高校の跡利用</u>についてはどうなっているのか伺う。	校舎については、建築後35年から47年を経過し、老朽化による多額な改修費用が見込まれることから、市としては使用しないこととし、屋内体育館等の体育施設については、老朽化により平成26年度末をもって廃止することとしている<u>体育センターの代替施設として活用できないか、現在、北海道教育委員会と協議を行っているところである。</u>	(生涯学習課で対応)
[一般質問 倉本議員] 各行政システムの運用にあたり、<u>個人情報の保護に対する研修の実績</u>があればお聞かせください。	各所属で行っている、課内会議、グループ会議などの職場内研修や新採用職員研修を行ってきた。今後は、不当な情報の入手や情報漏洩を禁止することなどの<u>個人情報の保護に関する専門的な職員研修の実施についても検討していく。</u>	来年度の新採用職員研修で、臨時、嘱託職員を加えていく。また、職場内の研修で、全庁キャビネットにある情報セキュリティ方針・対策基準、情報公開・個人情報の手引きの活用を促す。

平成25年第4回市議会定会における主な課題対応

総務部（財政課・契約管財課）

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
・予算編成過程の開示、公表を行い、市民と共有するべきではないか （一般質問：倉本議員）	・先進事例を含め、今後、調査・研究していきたい。	調査・研究（1月～2月末）
・消費税引き上げに伴う使用料等の改定の市民周知はどのように行うのか？ （消費税等特委：倉本議員）	・広報紙メロディ、市のホームページでお知らせするとともに、施設使用料の改定に関しては当該施設に料金改定のお知らせを掲示する。また、指定管理者の収入となる施設使用料については、指定管理者と相談の上、使用料改定する場合は、上記と同様の方法により周知を行う。	・広報紙メロディ2月号にお知らせ掲載。市のHPもメロディ配布時期と同時期に掲載。 ・使用料改定のある施設には、施設内に料金改定のお知らせを掲示する（1月下旬までに）
・廃校した学校敷地は面積も広いが、地域との連携で草刈りを行っているところもあると聞いている。今年3月に廃校した旧西美唄小学校の草刈りについてはどうか。 （一般質問：金子議員）	・学校跡地の雑草対策については、地域に委託しているところもある。旧西美唄小学校については、今年は地域の皆さんのご協力をいただき実施した。グラウンドも含め広大であり、害虫など発生しないよう時期的な注意が必要なことから、今後、地域の皆さんと協議し、管理していきたい。	・H26年度から地域と協議し委託する方向で検討する。

平成 25 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

保 健 福 祉 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1. 高齢者肺炎球菌ワクチンの助成の考え方について (一般：高田議員)	・ 現在厚生科学審議会における予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会で、定期予防接種に向けて接種の方法などの検討が行われている。 本市としては、ワクチンで防げる疾病は、可能な限り早期に定期予防接種化すべきであると考えております。 いずれにしても、国において、平成 25 年度中に定期予防接種に追加するかの結論を出すことで現在協議されており、国の動向を注視して行きたい。	・ 国において、現在協議中
2. 子宮頸がんワクチンの接種について、中止なのか継続なのか (一般：金子議員)	・ 子宮頸がん予防ワクチンは、国の予防接種法に基づく定期予防接種であり、国で接種の中止がなされない限り実施する考えである。 その際、対象者にはリスクなどを十分に理解をしていただいたうえで、希望者に実施する事としてまいります。 なお、保健センターでの集団接種については、関係機関と十分協議を行い、検討して行く。	・ 現在協議中

平成 25 年第 4 回市議会定会における主な課題対応

経済部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
○米政策の改革について 地域の実情にあった制度とすべきであり、市として国へ働きかけるべきと思う。 (長谷川議員)	国は関連対策も含め具体的な内容を一刻も早く提示し、生産現場で新政策に円滑に進めることが大切であり、生産者が安心して営農できる施策となるよう、道や農業団体と連携して、様々な機会を通じて働きかけていきたい。	・12月13日、空知管内水田担当者会議が開催され、平成26年産米市町村別生産数量目標が通知 ・1月に国による説明会が開催される予定
○ホワイトデータセンターについて 構想実現に向けて2社と包括連携協定を締結したが、その後の進捗状況について伺う。 (五十嵐議員)	データセンターの誘致は、産業振興、雇用の創出、税収増など地域経済の起爆剤になることから、国や道に対しインフラ整備や道路除排雪の収集等の支援を引き続き力強く要請していきたい。 更に、工場新設に関する助成制度についても、道の支援制度に合わせて、また、他市の優遇制度も参考にしながら、拡充を検討していきたい。	・現在、他市の支援施策等について調査中

平成25年第4回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
住宅改修促進助成事業は、平成20年度から実施されているが、今日までの制度の見直し状況と、今後の方向性について伺う。 (吉岡議員 一般質問)	本制度については、断熱改修の追加や収入要件の廃止など制度を見直してきたが、今後はさらに高齢者の居住環境が図られるよう、引き続き安心して住み続けられる住まいづくりに向け取り組むとともに、現制度の継続に努める。	現制度を継続する。 H26年度社会資本整備総合交付金要望済(2,750千円)

